

後期高齢者医療制度に関する
アンケート調査報告書

平成20年6月

新潟県後期高齢者医療広域連合

はじめに

近年の急速な少子高齢化や医療技術の高度化等に伴い、医療を取りまく環境が大きく変化する中、増大する老人医療費を支える現役世代と高齢者世代の負担を明確にし、公平で分かりやすい制度とするため、これまでの老人保健制度に代わり、この4月から新たに長寿医療制度（後期高齢者医療制度）がスタートしました。

今回のアンケート調査では、長寿医療制度（後期高齢者医療制度）施行時に加入者となる方々を対象とし、日常生活の生活実態や、制度に関するご意見、新潟県後期高齢者医療広域連合が行った広報活動などについてご意見をいただきました。

調査結果につきましては、今後の制度運営を円滑に行うため有効に活用させていただきます。調査にご協力いただきました方々に心より御礼申し上げます。

平成20年6月

新潟県後期高齢者医療広域連合

I . 調査の概要

1. 調査の目的

長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の円滑な運営を図るべく、被保険者となられた方に対し、健康状態・医療機関の利用状況及び新潟県後期高齢者医療広域連合が行った広報活動の効果を調査する。

2. 調査の概要

(1)調査対象

新潟県内在住の長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の被保険者 1,000 名

(2)対象者抽出方法

県内の市区町村ごとに、後期高齢者人口比率により標本数（1,000 名）を比例配分した。ただし、比例配分の際に、各市町村の標本数を最低 10 は確保することとし、不足分は新潟市の標本数で調整した。

各市町村における対象者の抽出は、平成 20 年 3 月下旬発送の被保険者証発送リストから等間隔抽出法で行った。

市 町 村	標 本 数	市 町 村	標 本 数
新潟市	1 9 4	南魚沼市	2 8
長岡市	1 1 3	胎内市	1 5
三条市	4 1	聖籠町	1 0
柏崎市	4 3	弥彦村	1 0
新発田市	4 3	田上町	1 0
小千谷市	1 8	阿賀町	1 0
加茂市	1 4	出雲崎町	1 0
十日町市	3 3	川口町	1 0
見附市	1 7	湯沢町	1 0
村上市	1 4	津南町	1 0
燕市	3 0	刈羽村	1 0
糸魚川市	2 7	関川村	1 0
妙高市	1 9	荒川町	1 0
五泉市	2 6	神林村	1 0
上越市	8 8	朝日村	1 0
阿賀野市	2 1	山北町	1 0
佐渡市	4 4	粟島浦村	1 0
魚沼市	2 2		
合 計		1, 0 0 0	

※荒川町、神林村、朝日村、山北町は、市町村合併のため平成 20 年 4 月 1 日に村上市となったため、アンケート結果には村上市として集計されています。

(3)調査方法

対象者へアンケート用紙及び長寿医療制度ガイドブックを郵送配布し、返信用封筒にて郵送回収を行った。

(4)調査期間

アンケート用紙発送 平成20年3月27日

アンケート返送期限 平成20年4月14日

(5)調査内容

- 対象者自身及び世帯構成に関すること
- 医療機関などの利用状況に関すること
- 健康診査及び健康相談に関すること
- 後期高齢者医療制度の広報に関すること
- 自由意見

(6)回収結果

標本数 1,000票

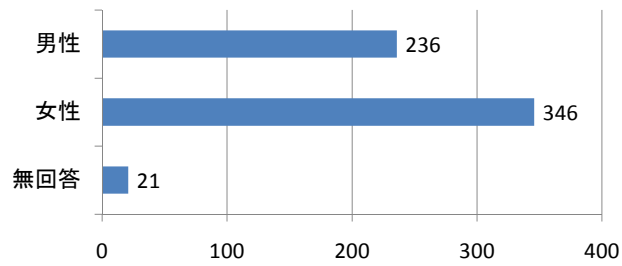
有効回収数 603票 (有効回収率60.3%)

II. 調查結果

1. 対象者自身及び世帯構成に関すること

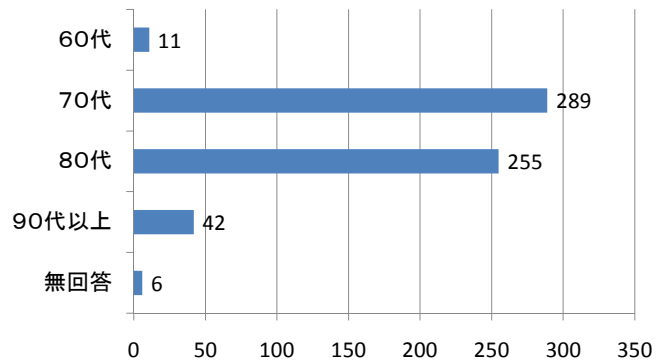
①性別

	基数	構成比(%)
男性	236	39.1
女性	346	57.4
無回答	21	3.5
合計	603	100.0



②年齢

	基数	構成比(%)
60代	11	1.8
70代	289	47.9
80代	255	42.3
90代以上	42	7.0
無回答	6	1.0
合計	603	100.0



③お住まいの市町村

市町村名	基数
新潟市	118
長岡市	67
上越市	55
三条市	19
柏崎市	27
新発田市	22
小千谷市	11
加茂市	5
見附市	7
村上市	28

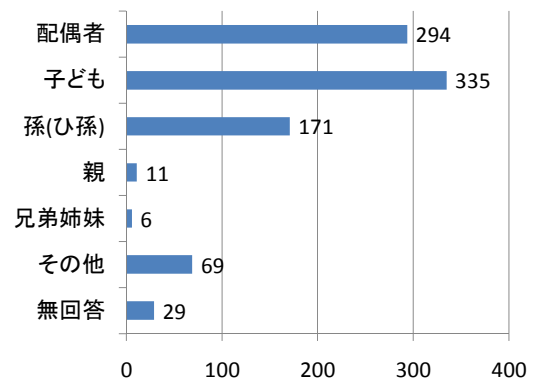
糸魚川市	12
妙高市	15
五泉市	14
阿賀野市	11
佐渡市	21
魚沼市	15
南魚沼市	17
十日町市	24
胎内市	11
燕市	19
聖籠町	3

弥彦村	5
阿賀町	7
田上町	5
出雲崎町	5
川口町	6
湯沢町	7
津南町	7
刈羽村	7
関川村	5
粟島浦村	3
無回答	25

合 計	603
------------	------------

④一緒に住まいの方(複数回答可)

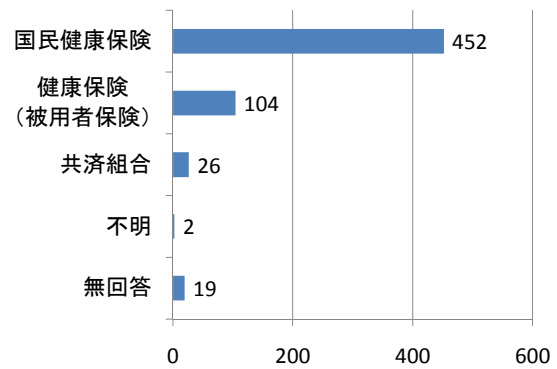
	基数	回答率(%)
配偶者	294	48.8
子ども	335	55.6
孫(ひ孫)	171	28.4
親	11	1.8
兄弟姉妹	6	1.0
その他(一人暮らし)	69	11.4
無回答	29	4.8



⑤3月末時点での保険証の種類

■ 国民健康保険加入者が7割

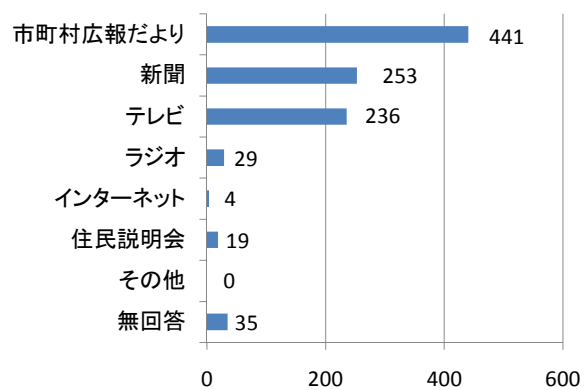
	基数	構成比(%)
国民健康保険	452	75.0
健康保険(被用者保険)	104	17.2
共済組合	26	4.3
不明	2	0.3
無回答	19	3.2
合計	603	100.0



⑥行政情報の入手方法(複数回答可)

■ 市町村広報だよりからの入手が7割

	基数	回答率(%)
市町村広報だより	441	73.1
新聞	253	42.0
テレビ	236	39.1
ラジオ	29	4.8
インターネット	4	0.7
住民説明会	19	3.2
その他	0	0.0
無回答	35	5.8



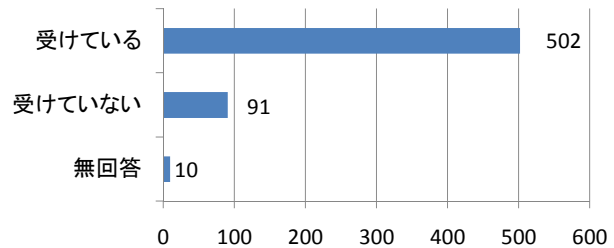
行政情報の入手方法は、「市町村広報だより」(73.1%)が最も多く、市町村広報誌からの情報入手が多いことが伺われる。つぎに「新聞」(42.0%)、テレビ(39.1%)の順となっている。高齢者は、インターネットを利用した情報入手をほとんどしていないことが分かる。

2. 医療機関などの利用状況に関すること

問1 あなたは現在、病気やケガで治療を受けていますか。

■ 病気やケガで治療を受けている方は 8割

	基数	構成比(%)
受けている	502	83.3
受けていない	91	15.1
無回答	10	1.7
合計	603	100.0

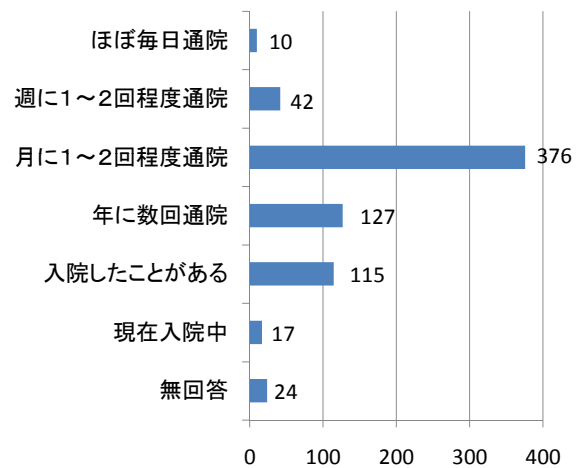


現在、病気やケガで治療を受けている方（83.3%）が多く、受けていない方（15.1%）を大きく上回っている。

問2 この1年間で診療所などの医療機関には、どの程度通っていますか。

■ 医療機関への通院は、「月に1回～2回程度」が 6割

	基数	回答率(%)
ほぼ毎日通院	10	1.7
週に1～2回程度通院	42	7.0
月に1～2回程度通院	376	62.4
年に数回通院	127	21.1
入院したことがある	115	19.1
過去1年間の入院日数		
1～30日	(78)	
31～60日	(12)	
61～90日	(5)	
91日以上	(9)	
現在入院中	17	2.8
無回答	24	4.0

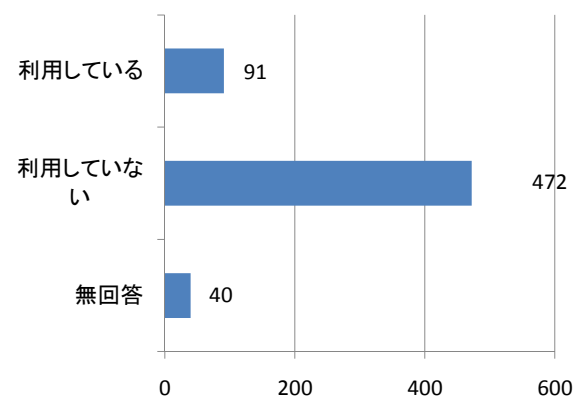


通院の頻度は、「月に1～2回程度」が62.4%、「年に数回通院」21.1%となっている。また、この1年間に「入院したことがある」と答えた方は19.1%となっている。

問3 介護サービスの利用を受けていますか。

■ 介護サービス「利用していない」が 約8割

	基数	構成比(%)
利用している	91	15.1
介護サービスの利用頻度		
ほぼ毎日	(20)	
週2～3回	(40)	
月数回	(21)	
その他	(0)	
利用していない	472	78.3
無回答	40	6.6
合計	603	100



介護サービスを「利用している」が15.1%、「利用していない」が78.3%となっている。

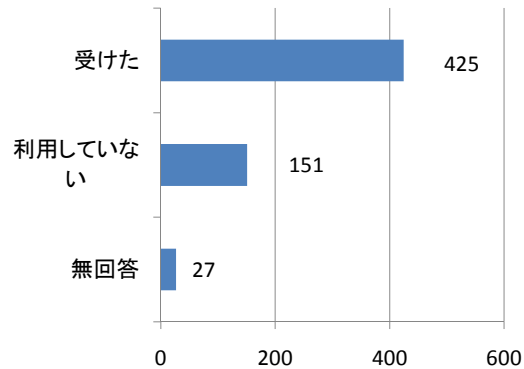
3. 健康診査・健康相談に関すること

問4 この1年間で健康診査や人間ドック(問診・血液・尿検査など)を受けましたか。

問5 健康診査を受けて、効果を感じましたか。(複数回答可)

■ 健康診査「受けている方」は全体の7割、そのうち7割の方が「安心感」を感じている

		基数	構成比(%)
受けた		425	70.5
健康診査 の効果	病気の 早期発見	(110)	(25.9)
	生活習慣 の改善	(80)	(18.8)
	安心感	(292)	(68.7)
	効果を感じない	(36)	(8.5)
	その他	(0)	(0.0)
利用していない		151	25.0
無回答		27	4.5
合計		603	100

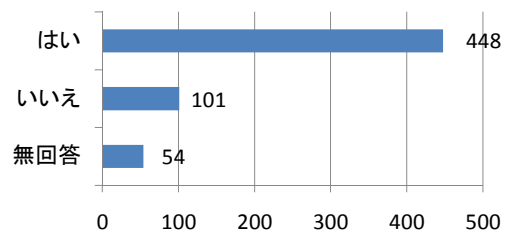


健康診査を受けている方が70.5%を占め、そのうち「安心感」を感じる方が68.7%と高く、健康診査を受けることにより安心する方が多数いることが伺える。
また、「病気の早期発見」に効果があったと答えた方は25.9%となっている。

問6 今後も健康診査を受け続けたいと思いますか。

■ 健康診査「受け続けたい方」が7割台半ば

		基数	構成比(%)
はい		448	74.3
いいえ		101	16.7
無回答		54	9.0
合計		603	100

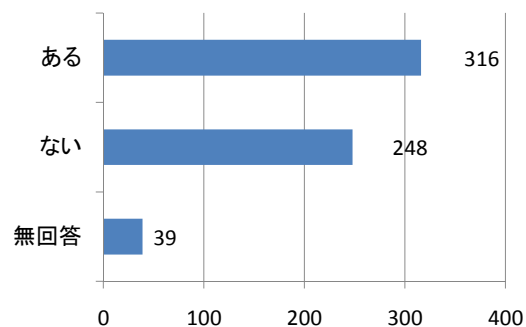


今後も健康診査を受け続けたいかについて、「はい」と答えた方は74.3%、「いいえ」と答えた方は16.7%となっている。

問7 今までに、健康相談を受けたことはありますか。

■ 健康相談「受けたことがある」が5割台前半

		基数	構成比(%)
ある		316	52.4
受 け 場 所	市町村	(56)	(17.7)
	医療機関	(242)	(76.6)
	その他	(0)	(0.0)
ない		248	41.1
無回答		39	6.5
合計		603	100



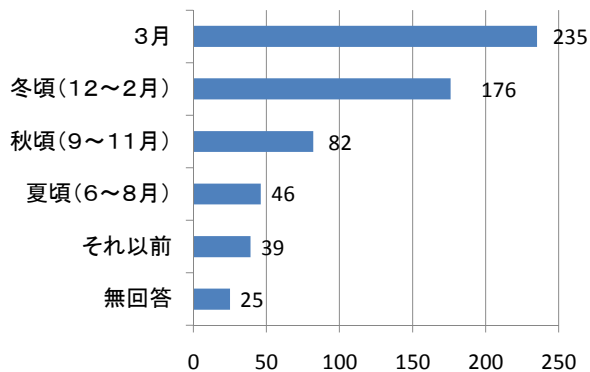
健康相談を受けたことが「ある」方は52.4%、そのうちの約8割が医療機関で相談している。

4. 後期高齢者医療制度の広報について

問8 後期高齢者医療制度が始まることをお知りになったのはいつ頃ですか。

■ 制度が始まることを知った時期は「3月」が 3割台後半

	基数	構成比(%)
3月	235	39.0
冬頃(12~2月)	176	29.2
秋頃(9~11月)	82	13.6
夏頃(6~8月)	46	7.6
それ以前	39	6.5
無回答	25	4.1
合計	603	100.0

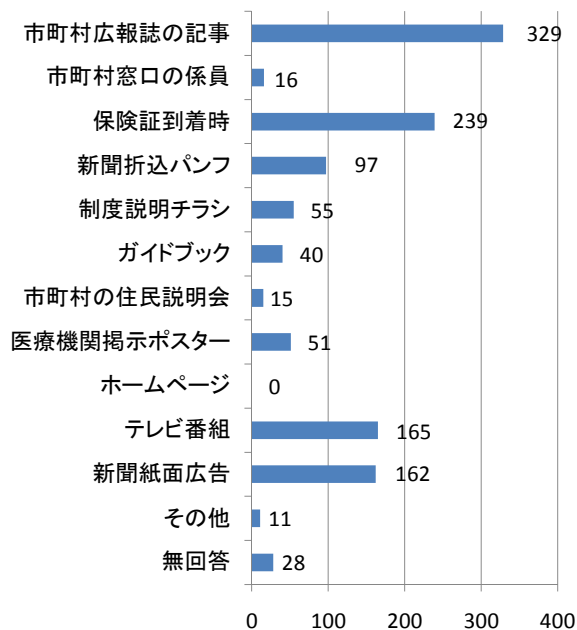


「3月」(39.0%)、「冬頃(12月~2月)」(29.2%)、「秋頃(9月~11月)」(13.6%)となっている。

問9 何によって知りましたか。(複数回答可)

■ 「市町村広報誌の記事」で知ったが 5割台半ば

	基数	回答率(%)
市町村広報誌の記事	329	54.6
市町村窓口の係員	16	2.7
保険証到着時	239	39.6
新聞折込パンフ(12月)	97	16.1
制度説明チラシ(7月)	55	9.1
ガイドブック(3月)	40	6.6
市町村の住民説明会	15	2.5
医療機関掲示ポスター	51	8.5
ホームページ	0	0.0
テレビ番組	165	27.4
新聞紙面広告	162	26.9
その他	11	1.8
無回答	28	4.6



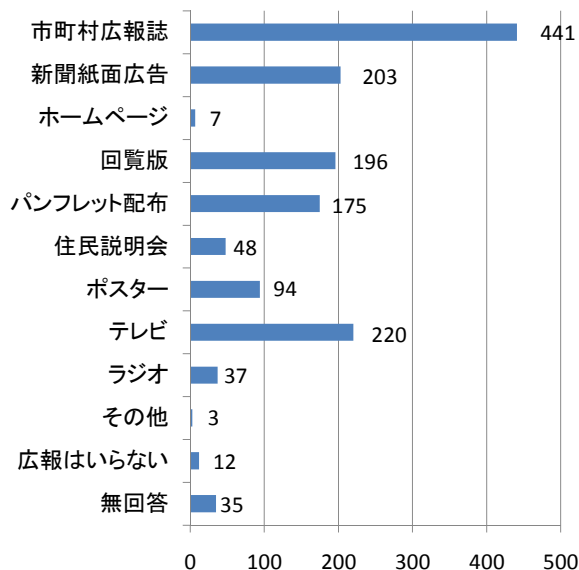
※その他の内訳(家族や隣人のクチコミ5件・入所施設の職員2件・ラジオ1件・このアンケートが届いて1件
保険者からの通知1件・政党機関紙1件)

「市町村広報誌の記事」(54.6%)、「保険証到着時」(39.6%)、「テレビ番組」(27.4%)、新聞紙面広告(26.9%)の順となっている。

問10 あなたが希望する広報手段をお教えてください。(複数回答可)

■ 希望する広報手段は「市町村広報誌」が7割台半ば

	基数	回答率(%)
市町村広報誌	441	73.1
新聞紙面広告	203	33.7
ホームページ	7	1.2
回覧版の利用	196	32.5
パンフレット等の配布	175	29.0
住民説明会の開催	48	8.0
医療機関へポスター掲示	94	15.6
テレビの活用	220	36.5
ラジオの活用	37	6.1
その他	3	0.5
広報は知らない	12	2.0
無回答	35	5.8



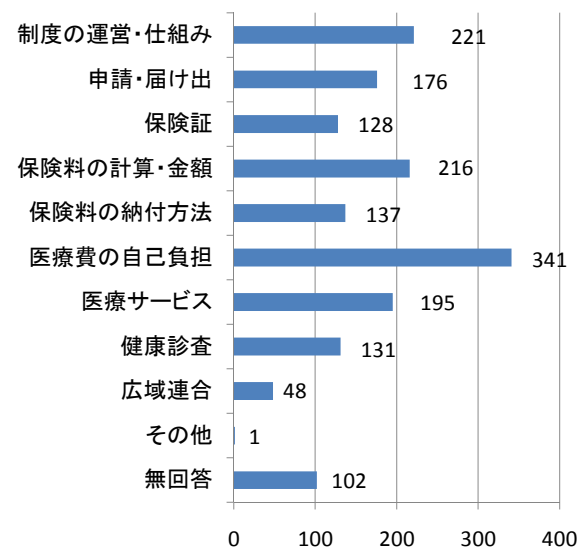
※その他の内訳(自宅へ来て説明2件・介護施設で説明1件)

希望する広報手段は、「市町村広報誌」(73.1%)が最も多く、「テレビの活用」(36.5%)、「新聞紙面広告」(33.7%)、「回覧版の利用」(32.5%)の順となっており、市町村広報誌での情報入手の希望が高い。

問11 後期高齢者医療制度について詳しく知りたい項目をお教えてください。(複数回答可)

■ 知りたい項目は「医療費の自己負担」が5割台半ば

	基数	回答率(%)
制度の運営・仕組み	221	36.7
申請・届け出	176	29.2
保険証に関すること	128	21.2
保険料の計算・金額	216	35.8
保険料の納付方法	137	22.7
医療費の自己負担	341	56.6
医療サービス	195	32.3
健康診査	131	21.7
広域連合に関すること	48	8.0
その他	1	0.2
無回答	102	16.9



※その他の内訳(薬のこと1件)

制度について知りたい項目は、「医療費の自己負担」(56.6%)が最も多く、制度運営の仕組み、保険料の計算・金額の順に続く。医療費や保険料など負担を伴うものに強い関心を示している。

【ご意見欄】

制度に対するご意見を自由に記入していただき、合計146件のご意見をいただきました。

◆制度全般について

高齢者に思いやりのある制度を考えてほしい。	21件
「後期高齢者」という表現に抵抗を感じる。	11件
どうして医療保険制度を75歳で分ける必要があったのか。	4件
長期的な見通しを建てた制度運営を行ってほしい。	2件

【意見抜粋】

- ◆ もっと年寄りに思いやりのある制度を考えてほしい。（70代女性）
- ◆ 社会の役に立っている高齢者に謝礼や祝い金をいただきたい。（70代女性）
- ◆ 長寿者を「やっかい者」扱いしているようだ。（80代男性）
- ◆ 1年間医者いらずの健康な人に、保険料を還元するなどの前向きな措置を望む。（80代男性）
- ◆ 弱者をいじめる様な制度で憤慨している。（70代男性）
- ◆ 少子高齢化にこの制度はやむを得ないが、貧困層に思いやりを感じない制度だ。（60代男性）
- ◆ 新しい制度で今後安心して暮らせるようにお願いします。（70代男性）
- ◆ 国を信用しているがこの先が不安でならない。高齢者の身になってほしい。（70代男性）
- ◆ 「後期高齢者」とは極めて失礼な表現だ。（70代男性）
- ◆ 「後期高齢者」と言われる当事者の気持ちを考えてほしい。（80代女性）
- ◆ 「後期高齢者」という呼称に抵抗があるが仕方がない。（70代女性）
- ◆ 75歳以上を切り離す必要があるのか、分けることが公平なのか。（70代男性）
- ◆ 75歳以上で区別することで、医療の差別化を受けるのは心外だ。（70代男性）
- ◆ 長期的見通しが甘く、全然良心的な制度ではない。目的すら分からない。（80代男性）

◆医療について

医療費の負担を増やさないでほしい。	11件
保健事業に関すること。	5件
受けられる医療内容に関すること。	3件

【意見抜粋】

- ◆ 医療費の自己負担増にならないかが一番心配です。（70代女性）
- ◆ 医療費の値上げはしないでください。（70代男性）
- ◆ 高齢者の増加に伴う医療費の増加は明らかで、自己負担増になるのではと不安。（70代男性）
- ◆ 年金が少ないので、医療費を高くしないでほしい。（80代女性）
- ◆ 病院にかかるとき、医療費のことが不安です。（70代女性）
- ◆ 高齢になると体が悪くなるので、若いうちから色々アドバイスがほしい。（70代女性）
- ◆ 主人の世話をしているので、なかなか人間ドックも思うように受けられない。（80代女性）
- ◆ 人間ドックは高額なので、年1回診療所で検査している。（70代女性）
- ◆ 人間ドックの補助金を今までどおりにしてもらわないと受けることができない。（70代女性）
- ◆ 医療サービスを絶対に軽視しないでほしい。（70代女性）

◆保険料について

年金からの徴収をやめてほしい。	14件
保険料の負担を増やさないでほしい。	14件

【意見抜粋】

- ◆ 少額な年金から保険料を引くことはやめてほしい。（80代男性）
- ◆ 保険料の年金天引きは、年金生活者にとって困る。（70代男性）
- ◆ 医療費には上限があるとのことだが、長期療養の場合が心配。（80代男性）
- ◆ 収入に応じて保険料を分担することは当然だが、少し親切さが足りない感じがする。（80代男性）
- ◆ 収入がない者が保険料を納めることに納得がいかない。（80代男性）

◆広報について

高齢者にも分かりやすい広報を望む。	31件
アンケートに関すること。	5件
保険料額の通知に関すること。	4件
ガイドブックに関すること。	3件

【意見抜粋】

- ◆ 広報の説明を老人にも分かるように詳しくしてほしい。（80代男性）
- ◆ 外への出歩きが困難なので、パンフレット等で広報してほしい。（80代男性）
- ◆ 少額で効率的な広報を多くやること。（80代男性）
- ◆ 年に2回程度のアンケートを希望する。（80代男性）
- ◆ 保険料がいくらになるのか早く知りたい。（70代男性）
- ◆ 制度の細部を知らず不安だったが、ガイドブックをいただき安心しました。（80代女性）
- ◆ ガイドブックで勉強させていただきます。（70代女性）

◆その他

健康でしあわせに暮らしています。	8件
病気がちで先々が不安です。	8件
保険証に関すること。	2件

【意見抜粋】

- ◆ 健康に生まれたことに感謝し、これからもまだまだ頑張ります。（80代女性）
- ◆ 色々騒がれているが、個人的には大変ありがたい。むやみに医者にかかりたくない。（70代男性）
- ◆ 一人暮らしなので、体調不良になったときのことが常に心配だ。（80代女性）
- ◆ 主人の看病で苦労したのに、今度は自分の番になって悩みが増した気がする。（70代女性）

Ⅲ. アンケート調査票

問 10 あなたが希望する広報手段をお教えてください。

(該当するものすべてお選びください)

1 市区町村だよりでの記事掲載	7 医療機関でのポスター掲示
2 新聞紙面広告	8 テレビの活用
3 ホームページ	9 ラジオの活用
4 回覧版の利用	10 その他[]
5 パンフレット等の配布	11 特に広報はらない
6 住民説明会の開催	

問 11 後期高齢者医療制度について詳しく知りたい項目をお教えてください。

(該当するものすべてお選びください)

1 制度の運営・仕組みに関すること	6 医療費の自己負担に関すること
2 各種申請・届出に関すること	7 医療サービスに関すること
3 保険証に関すること	8 健康診査に関すること
4 保険料の計算方法・金額に関すること	9 広域連合に関すること
5 保険料の納付方法に関すること	10 その他[]

これで調査はすべて終了です。ご協力ありがとうございました。

**ご回答いただきました調査票は、同封の返信用の封筒を使って
4月14日(月)までに投函してください。**

【ご意見欄】 後期高齢者医療制度・広域連合に関するご意見がありましたら、
ご自由に記入してください。

各 位

新潟県後期高齢者医療広域連合

後期高齢者医療制度に関するアンケート調査

拝啓、皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当広域連合では、この4月からはじまる後期高齢者医療制度の施行に向け、高齢者の
方々が安心して医療を受けられるよう準備を進めております。

本調査は、『後期高齢者医療制度』の加入者となる方々を対象とし、日常の生活実態や、
制度に関するご意見等について把握し、今後の制度運営に反映するものです。

つきましては、上記主旨をご理解いただき、お忙しいところ恐縮ですが本調査にご協力
のほど、よろしくお願い申し上げます。

また、ガイドブックを同封いたしますので、ご高覧いただければ幸いです。

敬具

○本調査は、『後期高齢者医療制度』の加入者となる方の中から、無作為に抽出しアンケ
ート票をお送りしたものです。

○本調査結果は、今後の後期高齢者医療制度の運営に活用させていただき、その他の目的
で利用することは一切ありません。結果概要は、統計的にとりまとめ、後日ホームペ
ージにて公開いたします。

○アンケートは、本調査用紙にご記入のうえ、同封の返信用封筒で、

平成20年4月14日(月)までにポストへ投函下さいますようお願いいたします。

○ご不明の点は下記までお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

【実施主体】 新潟県後期高齢者医療広域連合

本調査に関するお問い合わせ先

新潟県後期高齢者医療広域連合 総務課 企画係

担当：小川(おがわ)・小田(おだ)

TEL：025-285-3221 FAX：025-285-3315

後期高齢者医療制度に関するアンケート調査報告書

平成20年6月

新潟県後期高齢者医療広域連合 総務課企画係
